



クイック スタート ガイド



Cisco 250 シリーズ スマート スイッチ

はじめに

Cisco 250 シリーズ スマート スイッチをお選びいただき、ありがとうございます。これらのスイッチは、標準スイッチとしてすぐに動作できるように設計されています。デフォルト コンフィギュレーションでは、スイッチに電源投入すると、接続されているデバイス間でパケット転送が開始されます。

パッケージの内容物

- Cisco 250 シリーズ スマート スイッチ
- ラックマウントキット
- SG250-08、SG250-08HP、SG250-10P 用壁面取り付け用パッケージ
- 電源コードまたはアダプタ
- クイック スタート ガイド(本書)
- ポインタ カード(中国の RoHS あり)
- テクニカル サポート連絡先
- EU Directive 1999/5/EC コンプライアンス情報(EU SKU のみ)

このガイドでは、スマート スイッチのレイアウトを紹介し、お客様のネットワークにこのスイッチを導入する方法について説明します。詳細については、www.cisco.com/go/250switches を参照してください。

1 作業を開始する前に

インストールを開始する前に、次の準備ができていることを確認してください。

- ネットワーク デバイス接続用の RJ-45 イーサネット ケーブル(カテゴリ 5e 以上)。
- ハードウェア設置用の工具。スイッチに同梱されているラックマウントキットには、デスクトップ配置用のゴム製の脚 4 本、ラックマウント用ブラケット 2 つ、ネジ 12 本が含まれています。付属のネジを失くしてしまった場合は、次のサイズのネジを代わりに使用してください。
 - ネジ山の直径: 6.9 mm
 - ネジ山の表面から根元までの長さ: 5.9 mm
 - 軸径: 3.94 mm

- 壁面取り付け用キットにはネジとアンカーが含まれています。付属のネジを失くしてしまった場合は、次のサイズのネジを代わりに使用してください。
 - ネジ山の直径: **6.8 mm**
 - ネジ山の表面から根元までの長さ: **16 mm**
 - 軸径: **3.5 x 1.3 mm**
- Web ベースのインターフェイスを使用するための **Microsoft Internet Explorer** (バージョン **9.0、10.0、11.0**)、**Mozilla Firefox** (バージョン **51.0、52.0 53.0** 以降)、または **Google Chrome** (バージョン **56、57、58** 以降) がインストールされたコンピュータ。

2 Cisco 250 シリーズ スマート スイッチの設置

スイッチを設置するには、次の **3** つの方法があります。

- 平らな面に設置する。スイッチを机の上に設置するには、スイッチの底に **4** 本のゴム製の脚(付属)を取り付けます。
- 標準的なラック (高さ **1U** を占有します)に取り付ける。
- 壁面に取り付ける。

配置のヒント

次のような条件が当てはまる場所には設置しないでください。

- **高い周囲温度**: スイッチが過熱しないようにするため、周囲温度が **122 °F (50 °C)** を超える場所では動作させないでください。
- **エアフロー**: 過熱防止のため、両方の側面パネルが塞がれないようにしてください。
- **機械的荷重**: デバイスが滑ったり移動したりしないよう、水平で安定した状態でしっかりと固定させてください。
- **回路の過負荷**: 電源コンセントにデバイスを追加接続することで、その回路に過負荷をかけることのないようにしてください。

ラックへのマウント

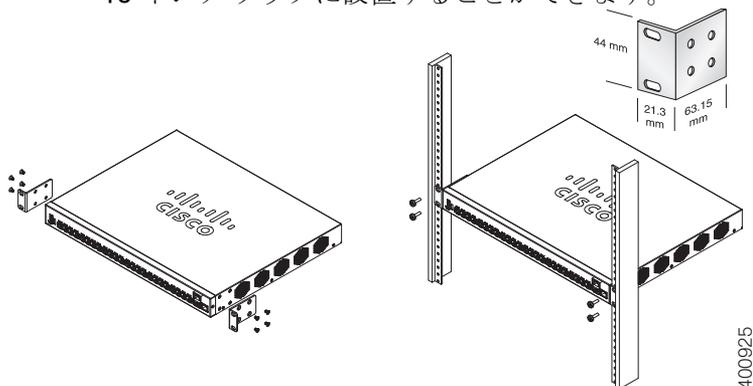
スイッチは標準サイズの **19 インチ** (約 **48 cm**) 幅のラックにマウントできます。スイッチには高さ **1 ラック ユニット (RU)**、すなわち **1.75 インチ (44.45 mm)** のスペースが必要です。



注意 安定性を確保するために、最も重いデバイスから順に下から上へとラックに載せていきます。重いデバイスをラックの一番上に載せると、不安定になり、転倒する可能性があります。

スイッチを **19 インチ** の標準シャーシに取り付けます。

- 手順 1** 付属のブラケットの **1** つをスイッチの側面に据え、ブラケットの **4** つの穴がネジ穴と合うようにします。付属のネジを **4** 本使用して固定します。
- 手順 2** 前述の手順を繰り返して、スイッチの反対側に別のブラケットを取り付けます。
- 手順 3** ブラケットが確実に取り付けられたら、これでスイッチを標準の **19 インチ** ラックに設置することができます。



壁面への取り付け

Cisco 250 シリーズ スマート スイッチを壁面に取り付けます。

- 手順 1** デバイスを取り付ける場所を決めます。表面が滑らかで、平らであり、乾燥しており、頑丈であることを確認します。
- 手順 2** **2** つのパイロット穴を **94 mm** 離して壁面上に開けます。

手順 3 各穴にネジを挿入し、表面とネジ山の根元との隙間は残しておきます。

手順 4 ネジがスイッチ底面のスロットにぴったりはまるまで、スイッチを上から下にスライドさせます。



警告

不安定な取り付けを行うと、デバイスの損傷やけがを招く恐れがあります。シスコは、壁面または天井への不安定な取り付けによって生じた損傷について、いかなる責任も負いません。

3 ネットワーク デバイスの接続

スマートスイッチをネットワークに接続するには、次の手順に従います。

手順 1 イーサネット ケーブルをコンピュータ、プリンタ、ネットワーク ストレージ、または他のネットワーク デバイスのイーサネット ポートに接続します。

手順 2 番号付けされたイーサネット ポートの **1** つに、スマート スイッチ イーサネット ケーブルのもう一方の端を接続します。

接続されたデバイスがアクティブ状態の場合、ポートの LED が点灯します。各スイッチのポートおよび LED の詳細については、「**Cisco 250 シリーズ スマート スイッチの特徴**」を参照してください。

手順 3 **手順 1** に接続する各デバイスで、**手順 2** およびスマート スイッチを繰り返します。

注 ギガビット接続にはカテゴリ **5** 以上のケーブルを使用することを推奨します。ネットワーク デバイスを接続する際は、最大ケーブル配線距離 **100 m (328 フィート)** を超えないようにしてください。デバイスや LAN が接続されてから、動作可能になるまでに最大 **1 分** かかることがあります。これは予想される通常の動作です。

Power over Ethernet の考慮事項



警告

スイッチは、設備外部へのルーティングは行われ^{ない} PoE ネットワークにのみ接続されるよう意図されています。

スイッチが Power over Ethernet (PoE) モデルのいずれかである場合は、次の所要電力を考慮してください。

Power Over Ethernet モデルの 250 シリーズ スイッチ

モデル	PoE 給電	PoE をサポートするポートの数	PoE 標準規格のサポート
SF250-24P	185 ワット	1-24	802.3af/at
SF250-48HP	195 ワット	1-48	802.3af/at
SG250-08HP	45 ワット	1-8	802.3af/at
SG250-10P	62 ワット	1-8	802.3af/at
SG250-26HP	100 ワット	1-24	802.3af/at
SG250-26P	195 ワット	1-24	802.3af/at
SG250-50HP	192 ワット	1-48	802.3af/at
SG250-50P	375 ワット	1-48	802.3af/at
SG250X-24P	195 ワット	1-24	802.3af/at
SG250X-48P	382 ワット	1-48	802.3af/at



注意

PoE 供給能力のあるスイッチを接続するときには、次の点を考慮してください。

スイッチの PoE モデルは、DC 電源を接続先 PD(受電デバイス)に供給できる PSE(給電側機器)です。このようなデバイスには VoIP 電話機、IP カメラ、ワイヤレス アクセス ポイントが含まれます。

PoE スイッチは、先行標準のレガシー PoE 受電デバイスを検出して給電できます。レガシー PoE のサポートが原因で、PSE として動作する PoE スイッチが(他の PoE スイッチを含む)接続先 PSE を誤ってレガシー PD として検出して給電する可能性があります。

PoE スイッチは PSE であるため AC で給電されるべきですが、誤検出により別の PSE からレガシー PD として給電される可能性があります。このような状態が発生した場合、PoE スイッチが正しく機能しない可能性があり、接続先 PD に正しく電力を供給できない場合があります。

誤検出を防ぐには、PSE への接続に使用される PoE スイッチ上のポートで PoE を無効にしてください。また、PSE デバイスを PoE スイッチに接続する前に、まず PSE デバイスに給電する必要があります。あるデバイスが PD として誤検出される場合には、そのデバイスを PoE ポートから切断し、AC 電源によって電力を再供給した後で、PoE ポートに再接続してください。

4

Cisco 250 シリーズ スマート スイッチの設定

作業を開始する前に

製品リリース ノートで、管理用コンピュータの要件を確認してください。

Web ベースのインターフェイスを使用したスイッチの設定

Web ベースのインターフェイスを使用してスイッチにアクセスするには、スイッチが使用している IP アドレスを知っていなければなりません。スイッチは、工場出荷時設定の IP アドレス (192.168.1.254) とサブネット (/24) を使用します。

スイッチが工場出荷時設定の IP アドレスを使用している場合、システム LED は連続的に点滅します。スイッチが DHCP サーバから割り当てられた IP アドレスや管理者が設定したスタティック IP アドレスを使用している場合は、システム LED はグリーンで点灯した状態になります (DHCP はデフォルトで有効)。

注 ネットワーク接続を介してスイッチを管理している場合、DHCP サーバまたは手動でスイッチの IP アドレスを変更すると、スイッチへのアクセスが失われます。Web ベースのインターフェイスを使用するためには、スイッチが使用している新しい IP アドレスをブラウザに入力する必要があります。

スマート スイッチを設定するには、次の手順に従います。

手順 1 コンピュータとスイッチの電源をオンにします。

手順 2 コンピュータを、スイッチの前面パネルにある任意のネットワークポートに接続します。

手順 3 コンピュータの IP 構成を設定します。

- a. スイッチが工場出荷時設定の IP アドレス 192.168.1.254/24 を使用している場合、コンピュータの IP アドレスには、192.168.1.2 ~ 192.168.1.253 の範囲内で未使用の IP アドレスを選択する必要があります。

- b. IP アドレスが DHCP サーバによって割り当てられる場合は、DHCP サーバが実行中であり、スイッチとコンピュータから接続可能であることを確認します。各デバイスに DHCP サーバから割り当てられた新しい IP アドレスを検出させるために、デバイスを一旦切断して再接続することが必要な場合があります。

注 お使いのコンピュータで IP アドレスを変更する方法は、そのアーキテクチャやオペレーティング システムの種類によって異なります。コンピュータのヘルプとサポート機能を使用して「IP アドレッシング」について検索してください。

手順 4 Web ブラウザを開きます。デバイスに接続したときに、ActiveX プラグインをインストールするよう求められた場合は、指示に従ってプラグインのインストールを許可します。

手順 5 アドレスバーにスイッチの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。たとえば **http://192.168.1.254** です。

[スイッチのログインページ]が表示されます。

手順 6 次のデフォルトのログイン情報を入力します。

- ユーザ名は **cisco** です。
- デフォルトのパスワードは **cisco** です(パスワードでは大文字と小文字が区別されます)。

手順 7 [ログイン]をクリックします。

デフォルトのユーザ名とパスワードで初めてログインする場合、[パスワードの変更] ページが表示されます。新しいパスワード作成のルールがページに表示されます。

手順 8 新しいパスワードを入力して確認します。

注 パスワード複雑度は、デフォルトで有効になっています。パスワードは、デフォルトの複雑性ルールに準拠する必要があります。または、[パスワード強度の強制] オプションの横にある [無効] をオンにして一時的に無効にすることができます。

手順 9 [適用] をクリックします。



注意

Web ベースのインターフェイスを終了する前に、[保存] アイコンをクリックして設定の変更内容を必ず保存してください。設定を保存する前に終了した場合、変更内容はすべて失われます。

[はじめに] ウィンドウが表示されます。これで、スイッチを設定する準備が整いました。詳細については、アドミニストレーションガイドを参照してください。

接続に関するトラブルシューティング

Web ベースのインターフェイスからスイッチにアクセスできない場合、スイッチはコンピュータから接続不能な状態になっている可能性があります。**Windows** コンピュータの場合、**ping** を使用してネットワーク接続をテストすることができます。

手順 1 [スタート]>[ファイル名を指定して実行]を選択し、**cmd** と入力して、コマンドウィンドウを開きます。

手順 2 [コマンド] ウィンドウで、**ping** に続けてスマートスイッチの IP アドレスを入力します。たとえば、**ping 192.168.1.254** (スマートスイッチのデフォルト IP アドレス) のように指定します。

スイッチに接続可能な場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Reply from 192.168.1.254: bytes=32 time<1ms TTL=128
```

スイッチに接続できない場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Request timed out.
```

考えられる原因と解決策

スイッチの電源が入らない

- 電源コードがスイッチと電源コンセントの両方にしっかりと接続されていることを確認します。
- 電源コンセントがアクティブであることを確認します。
- コンピュータがオンになっていることを確認します。
- この状況が続くようであれば、スイッチを交換する前に、電源アダプタを交換します。

イーサネットの接続不良

- **LED** の表示が正常であるかどうかを確認します。
- イーサネット ケーブルのコネクタがスイッチとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。
- 別のイーサネット ケーブルまたはポートを使用します。

IP アドレッシングの問題

- シスコスイッチは、Cisco FindIT Network Discovery Utility からアクセスできます。このユーティリティを使うと、ユーザのコンピュータと同じローカルネットワークセグメント内にある Cisco Small Business デバイスをすべて自動的に検出できます。問題を解決するには、このユーティリティを使用して現在の IP アドレスを含むデバイスの情報を確認する、デバイスの最新ファームウェアをダウンロードする、または製品設定ユーティリティを使用して設定を表示および構成するという方法があります。詳細については、www.cisco.com/go/findit を参照してください。
- スイッチで使用している IP アドレスが正しいことを確認します。システム LED は、スイッチが IP アドレスを受信した場所を示します。
- 別のデバイスがスイッチと同じ IP アドレスを使用していないことを確認してください。

IP ルートがない

スイッチとコンピュータが異なる IP サブネットに存在する場合、2つのサブネット間でパケットをルーティングするために、1台以上のルータが必要になります。

アクセス時間が異常に長い

標準的なスパニングツリーのループ検出ロジックにより、新しい接続を追加すると、その影響を受けるインターフェイスや LAN が動作可能な状態になるまで 30 ~ 60 秒かかる場合があります。

5

Cisco 250 シリーズ スマート スイッチの特徴

ここでは、ポート、LED、接続など、スマートスイッチの外観について説明します。ここで説明する特徴は、必ずしもすべてのモデルに備わっているわけではありません。

製品モデル

モデル	説明
SF250-24	24 ポート 10/100 スマート スイッチ
SF250-24P	24 ポート 10/100 PoE スマートスイッチ
SF250-48	48 ポート 10/100 スマート スイッチ
SF250-48HP	48 ポート 10/100 PoE スマート スイッチ
SG250-08	8 ポート ギガビット スマート スイッチ
SG250-08HP	8 ポート ギガビット PoE スマート スイッチ
SG250-10P	10 ポート ギガビット PoE スマート スイッチ
SG250-18	18 ポート ギガビット スマート スイッチ

SG250-26	26 ポート ギガビット スマート スイッチ
SG250-26HP	26 ポート ギガビット PoE スマート スイッチ
SG250-26P	26 ポート ギガビット PoE スマート スイッチ
SG250-50	50 ポート ギガビット スマート スイッチ
SG250-50HP	50 ポート ギガビット PoE スマート スイッチ
SG250-50P	50 ポート ギガビット PoE スマート スイッチ
SG250X-24	24 ポート ギガビット および 4 ポート 10 ギガビット スマート スイッチ
SG250X-24P	24 ポート ギガビット PoE および 4 ポート 10 ギガビット スマート スイッチ
SG250X-48	48 ポート ギガビット および 4 ポート 10 ギガビット スマート スイッチ
SG250X-48P	48 ポート ギガビット PoE および 4 ポート 10 ギガビット スマート スイッチ

ポート

USB ポート: USB ポートは、接続した USB デバイスを利用して、コンフィギュレーション ファイル、ファームウェア イメージ、および Syslog ファイルの保存と復元ができるようにするため、スイッチと USB デバイスを接続します。

RJ-45 イーサネット ポート: これらのポートを使用して、コンピュータ、プリンタ、アクセス ポイントなどのネットワーク デバイスをスイッチに接続します。

SFP ポート (存在する場合): Small Form-Factor Pluggable (SFP) ポートは、モジュール用の接続ポイントです。これらのポートを使用して、スイッチを他のスイッチとリンクさせることができます。これらのポートは一般に、ミニギガビット インターフェイス コンバータ (miniGBIC) ポートとも呼ばれます。このガイドでは SFP という用語を使います。

SFP+ ポート (存在する場合): Small Form-Factor Pluggable Plus (SFP+) は、スイッチを他のスイッチとリンクするためのモジュール用の接続ポイントです。これらのポートは一般に、ミニ 10 ギガビット インターフェイス コンバータ ポートとも呼ばれます。このガイドでは SFP+ という用語を使います。

いくつかの SFP インターフェイスがもう 1 つの RJ-45 ポートと共有されており、コンボ ポートとも呼ばれます。SFP がアクティブな場合、隣接した RJ-45 ポートは無効になります。対応する RJ-45 ポートの LED は、SFP インターフェイスのトラフィックに応答するとグリーンで点滅します。

LED

System LED: (グリーン) この LED はスイッチの電源がオンになると点灯し、ブート中、セルフテストの実行中、または IP アドレスの取得中は点滅します。LED がオレンジ色に点滅している場合は、スイッチがハードウェア障害を検出したことを示します。

LINK/ACT LED: (グリーン) ポートの左側に配置されています。この LED は、対応するポートと別のデバイス間のリンクが検出されると点灯し、ポートがトラフィックを渡している間は点滅します。

100M LED (存在する場合): (グリーン) ポートの右側に配置されています。この LED は、別のデバイスがポートに接続されていて、電源がオンになっており、かつデバイス間で **100 Mbps** のリンクが確立されているときに点灯します。LED が消灯している場合は、接続速度が **100 Mbps** を下回っているか、ポートに何も接続されていないかのいずれかです。

Gigabit LED (存在する場合) (グリーン) ポートの右側に配置されています。この LED は、別のデバイスがポートに接続されていて、電源がオンになっており、かつデバイス間で **1000 Mbps** のリンクが確立されているときに点灯します。LED が消灯している場合は、接続速度が **1000 Mbps** を下回っているか、ポートに何も接続されていないかのいずれかです。

XG LED (存在する場合): (グリーン) **10G** ポートの右側に配置されています。この LED は、別のデバイスがこのポートに接続されていて、電源がオンになっており、かつデバイス間で **10 Gbps** のリンクが確立されているときに点灯します。LED が消灯している場合は、接続速度が **10 Gbps** を下回っているか、ポートに何も接続されていないかのいずれかです。

PoE (存在する場合): (オレンジ) ポートの右側に配置されています。この LED が点灯している場合、対応するポートに接続されたデバイスに電力が供給されていることを示します。

その他の特徴

スイッチには、リセット ボタンも付いている場合があります。**[Reset]** の開口部へピンまたはペーパー クリップを挿入することで、スイッチをリセットできます。詳細については、「[スイッチを工場出荷時設定に戻す](#)」を参照してください。

背面パネル

電源ポートは、スマート スwitchの背面パネルに配置されています。

6

スイッチを工場出荷時設定に戻す

Reset ボタンを使用してスマート スイッチを再起動またはリセットするには、次の手順に従います。

- スマート スイッチを再起動するには、**Reset** ボタンを 10 秒未満押し続けます。
- スマート スイッチの設定を工場出荷時設定に戻すには、次の手順に従います。
 1. ネットワークからスマート スイッチを切断するか、ネットワーク上のすべての **DHCP** サーバを無効にします。
 2. 電源を投入して、**Reset** ボタンを 10 秒以上押し続けます。



警告

この装置は、クラス A 製品です。この装置を家庭環境で使用すると電波干渉を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

7

関連情報

サポート	
シスコ サポート コミュニティ	www.cisco.com/go/smallbizsupport [英語]
シスコ サポート と リソース	www.cisco.com/go/smallbizhelp
サポート 連絡先 電話番号	www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_small_business_support_center_contacts.html
シスコ ファームウェア ダウンロード	www.cisco.com/go/smallbizfirmware リンクを選択して、シスコ製品のファームウェアをダウンロードできます。ログインは不要です。

シスコ オープン ソース リクエスト	<p>該当する無料/オープン ソース ライセンス (GNU Lesser/一般公的使用許諾など)の下で使用資格が与えられるソースコードのコピーを受け取るには、次の宛先にリクエストを送信してください。</p> <p>externalopensource-requests@cisco.com</p> <p>リクエストには、製品のオープン ソース マニュアルに記載されている、シスコ製品の 名前、バージョン、18 桁の参照番号(例: 7XEEX17D99-3X49X081)を明記してください。</p>
Cisco Partner Central(パートナー ログインが必要です)	www.cisco.com/web/partners/sell/smb
製品マニュアル	
Cisco 250 シリーズ スマート スイッチ	www.cisco.com/go/250switches
規制準拠および安全性に関する情報	www.cisco.com/en/US/docs/switches/lan/csb_switching_general/rcsi/Switch_RCSI.pdf
保証情報	www.cisco-warrantyfinder.com

米国本社

Cisco Systems, Inc.

www.cisco.com



シスコは世界各国 200 箇所以上にオフィスを開設しています。
各オフィスの住所、電話番号、ファクス番号は
当社の Web サイト
(www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

78-101207-01A0

Cisco およびシスコ ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、http://www.cisco.com/web/JP/trademark_statement.html をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

© 2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.